

MIE BANK NEWS RELEASE

各 位

2020年9月28日
株式会社三重銀行

レンゴー株式会社向け ポジティブ・インパクト・ファイナンスのシンジケートローン参加について

株式会社三重銀行(本店:四日市市、頭取:渡辺 三憲)はレンゴー株式会社(代表取締役社長兼COO:川本洋祐氏、以下「レンゴー」)を借入人として、国連環境計画金融イニシアティブ(以下、「UNEP FI」)(1)が提唱したポジティブ・インパクト金融原則(2)に則した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」(以下、「本件PIF」)のシンジケートローンに参加しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資であり、企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

本件PIFに係るインパクト評価は、シンジケートローンのアレンジャーおよびエージェントである三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝氏)が実施しており(3)、ポジティブ・インパクト・ファイナンスでの融資は当行として初の取組みとなります。

レンゴーグループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPIレンゴーとして、“Less is more.”をキーワードとする、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取組み、持続可能な社会の実現に貢献されています(4)。

当行は、本件PIFへの取組みを含め、SDGsの目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【シンジケートローンの概要】

借入人	レンゴー株式会社
契約締結日	2020年9月28日
アレンジャー/エージェント	三井住友信託銀行株式会社
組成金額	50億円
資金用途	運転資金
貸付人	三重銀行 ほか15行

MIE BANK NEWS RELEASE

(1)国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)

国連環境計画(UNEP)は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG(環境・社会・企業統治)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(2)ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FIが2017年1月に策定した、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた金融の枠組みです。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

(3)2020年9月28日付三井住友信託銀行株式会社のニュースリリースをご参照ください。

<https://www.smtb.jp/corporate/release/>

(4)レンゴのwebサイトをご参照ください。

<https://www.rengo.co.jp/>

以上



【本件に関するお問い合わせ先】

営業企画部 大城 TEL(059)-354-7120